



## 【 建物の特徴 】

小屋組は和風で外観の装飾をもって洋風とする、典型的な擬洋風建物である。

屋根は目地漆喰塗で、突針付の鬼瓦がのる。

部屋割は、一・二階とも、ほぼ左右対称である。

各部屋は独立し、ポーチ・ベランダから出入りする。

一階室内から階段を上り二階のベランダに直接出る。

各部屋の天井・壁はすべて紙張である。（管理上、一部は漆喰塗とした。）

出入口の扉は板戸で、玄関ホール、貴賓室のほかは四尺の片開戸である。

窓は上下窓で、カーテンの痕跡はなかった。

創建当時の家具調度品は不明である。

（各部屋のシャンデリアや、貴賓室の家具は建物の意匠に合わせて作成した。）

外壁はペンキ塗で、幅木は弁柄塗（べんがらぬり）である。

（これらの色調については、残存する塗装から復旧した。）

正門・門柱・門扉は創建当時の写真をもとに復原した。

## 【保存修理工事について】

昭和59年1月から昭和61年3月にかけて半解体修理工事を実施、相生村役場時代に改変された部分を復旧し、創建当時の姿に整備した。

平成2年、平成5年に外部塗装等の部分修理を行ない、平成15年2月から9月にかけて外部塗装、内部紙張り及び屋根の保存修理を実施した。以後、随時内外装の整備・補修を行っている。

旧群馬県衛生所の変遷



明治11年頃 前橋



昭和13年頃 旧相生村



昭和45年 桐生市合併後 相生出張所

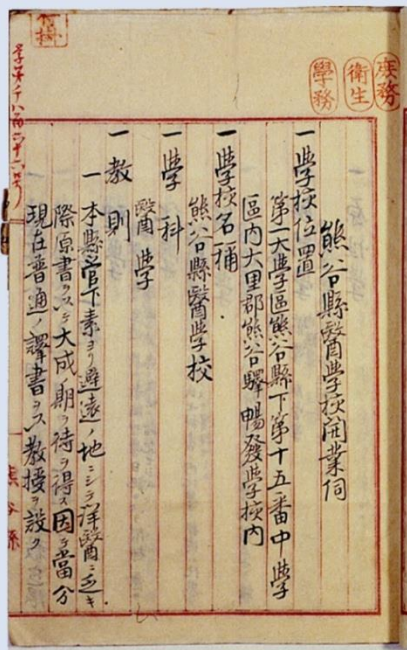
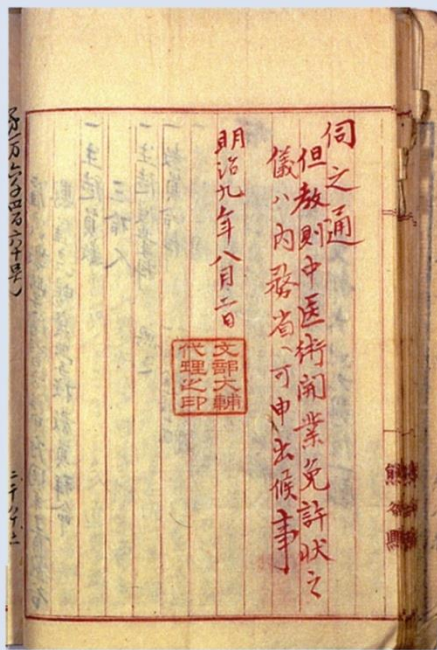
写真向かって左、前橋市大手町2丁目（現在の群馬会館の敷地）に建てられていた頃  
 写真中央、旧相生村時代の様子。1階外壁や2階の階段周り他、部屋割等にも大改修が行われている。  
 写真向かって左、桐生市合併後、相生出張所時代の様子。

【 沿 革 】

明治 7年1月	「衛生局」熊谷県大里郡熊谷駅に開局
9年5月	「衛生局」を「衛生所」に改称 「熊谷県医学校」開校
8月21日	熊谷県と栃木県の一部を合併し第二次群馬県設置 「衛生所」高崎に、「医学校」は前橋に移る
11年5月1日	「衛生所兼医学校」着工
8月30日	「衛生所兼医学校」竣工
9月4日	明治天皇御巡幸に際し、天覧
12年1月	「衛生所」廃止
14年3月	県会にて医学校費全額否決
6月	「群馬県医学校」廃校
15年7月	「県立女学校」本館にて開校
19年3月	「県立女学校」廃校
20年3月	「師範学校附属小学校」本館に移転
27年4月	附属小学校新築のため本館より転出
31年9月	「群馬県物産陳列館」本館にて開場
43年11月	「群馬県物産陳列館」本館から移転
44年1月	「群馬県農会」本館を事務所とする 「群馬会館」建設を本館跡地に決定
昭和 3年6月5日	山田郡相生村が群馬県へ本館払い下げを申請
6月8日	本館払い下げ許可
9月26日	相生村役場」として移築工事着工
4年2月25日	移築工事完成
29年10月1日	相生村が桐生市へ合併（本館は桐生市役所相生出張所となる）
51年2月3日	重要文化財に指定
57年3月31日	出張所及び公民館転出
57年4月1日	桐生市文化財整理室として使用
59年7月1日	半解体による保存修理工事を開始
61年3月31日	保存修理工事完了
61年5月1日	桐生明治館 開館



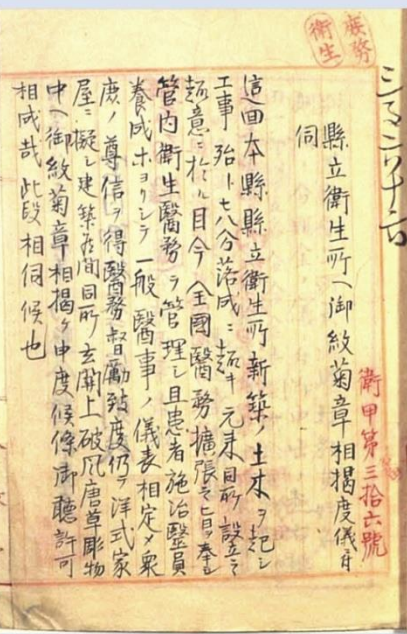
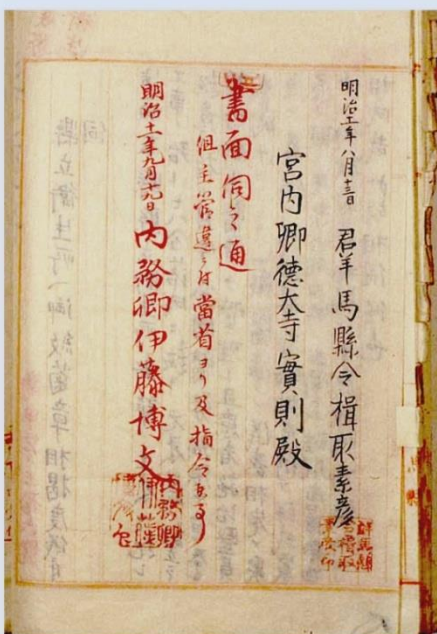
昭和61年3月 竣工写真 コの字型配置の建物



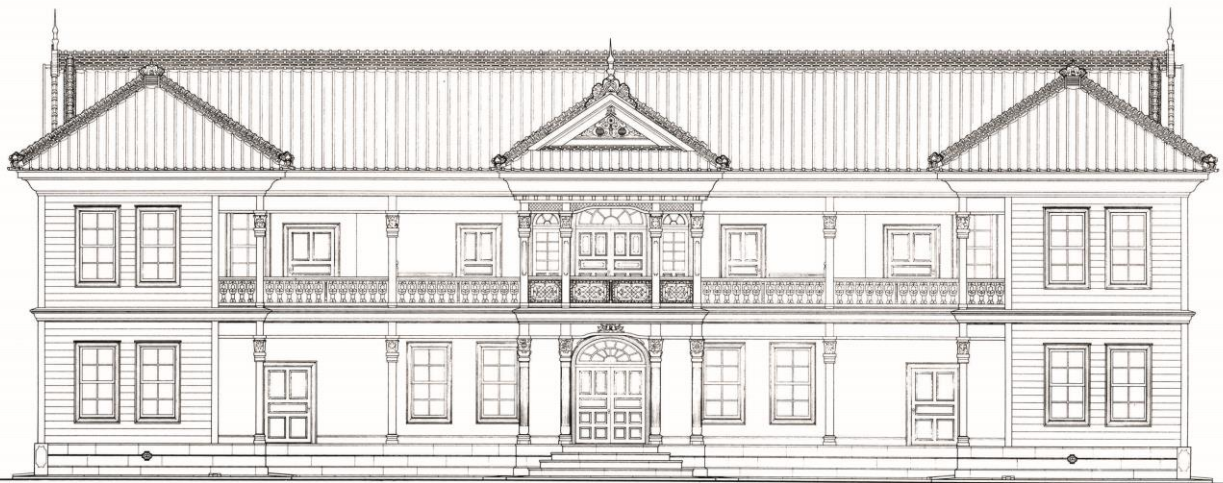
熊谷県医学校開業伺  
※当時は熊谷県であったため

中略

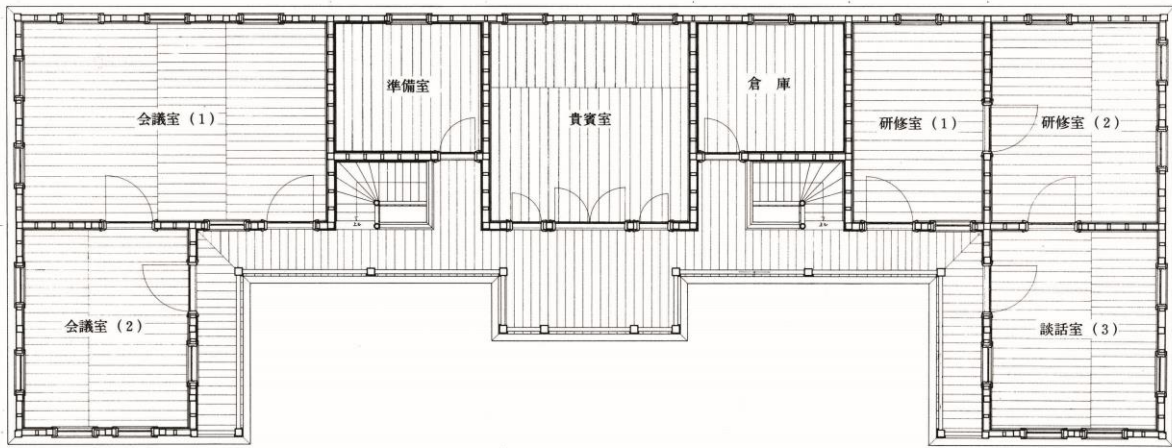
明治9年8月2日認可



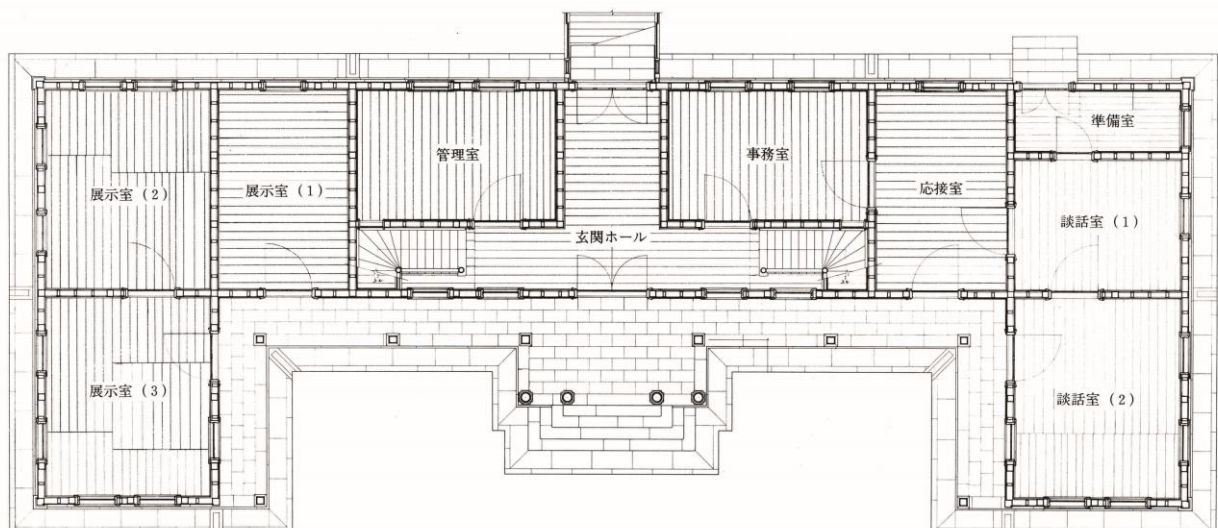
県立衛生所へ御紋菊章相掲度儀二付伺 玄関上破風唐草彫物中へ御紋菊章相掲ヶ申・・・  
当時の群馬県令楫取素彦より宮内卿徳大寺實則あて 明治11年9月19日 内務卿伊藤博文 指令



旧群馬県衛生所 立面図



旧群馬県衛生所 2階平面図



旧群馬県衛生所 1階平面図

# 館内1階



喫茶 丸テーブル席



喫茶カウンター



喫茶 角テーブル席



展示室2



展示室1



展示室3

一般の方も展示室・会議室が  
ご利用いただけます。  
詳しくは桐生明治館1階事務室へ

## 館内2階



会議室1



会議室2



貴賓室



展示室入口



展示室 東西2部屋